

2020年11月30日

No. 20-307

株式会社 伊予銀行

## 「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」の第5号出資先が決定！

～6次産業化事業体への出資・経営支援を通じて地域の農林水産業の発展をサポート～

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、株式会社内子・森と町並みの設計社様（愛媛県喜多郡内子町、代表取締役社長 稲田 繁様）に対して、「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」第5号案件として80百万円を出資しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

このファンドは、農林漁業者の方が取り組む6次産業化事業体の組成・支援を目的として、政府出資のもと設立された株式会社農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）と共に2013年4月に組成し、これまでに株式会社佐田岬の鬼様（出資額75百万円）、ファンガーデン株式会社様（同68百万円）、株式会社宇和島海道様（同150百万円、同100百万円）に出資しております。

今後とも、6次産業化事業体への経営支援を通じ、地域の農林水産業の付加価値向上による地域活性化及び雇用創出に取り組んでまいります。

### 記

#### 「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」第5号出資先

項目	内容
出資先名	株式会社内子・森と町並みの設計社
所在地	愛媛県喜多郡内子町寺村 2478 番地 6
出資日	2020年11月30日
出資額	80百万円
事業内容	林業経営、森林整備、建築工事、木材加工
出資形態	普通株式引受
資金使途	3DCAD付自動ログハウス材加工機購入資金及び設置工事費用
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社は、内子町の豊かな林業資源を有効活用するため町内の林業者、森林組合、内子町の共同出資によって1994年8月に設立いたしました。</li> <li>・高性能林業機械の導入により作業道開設や除伐・間伐、伐採・搬出といった手間のかかる森林作業に加え、ログハウス建設や木材加工など6次産業化にも積極的に取り組み、内子町産木材の価値向上に努めています。</li> </ul>
出資理由	高性能加工機械の設置により県外からの需要にも対応することが可能になり、愛媛県産木材の新たな販路の獲得を目指す取組みであることから、地域活性化に繋がる6次産業化の先進的な事例としてファンド出資を決定したものです。

以上